

『心塾』のご案内

東京日野市にある学生寮「心塾」は、
首都圏で学ぼうとする交通遺児が心置きなく勉学に励み、交流を深めることができる場であるだけでなく、
人としての成長を促す場でもあります。
塾生活で自然にまわりの人を思いやる心が身につき、皆さん社会へ巣立っていきます。



交通遺児育英会
学生寮心塾

学びを守り、心身を育む場として。

公益財団法人交通遺児育英会は、東京通学圏外に在住し、高等学校を卒業後、東京圏の上級学校で修学する交通遺児のため、育英会設立から9年後の1978年(昭和53年)に東京寮『心塾』を開設し、2005年(平成17年)からはその『心塾』を関西圏へも拡大しました。開設以来、大切にしているのは経済的、精神的に安心して学べる環境を整えること、そして、塾生の心を育むことです。塾名『心塾』は「学業で得た知識や経験は、“心”があって初めて人のため、世の中のために活かすことができること」、「支援して下さった多くの方々のやさしい“心”によって、この塾を開設できたこと」に由来します。『心塾』は、これからも奨学生やご家族の皆様が安心できる場でありつつ、「温かい心」「広い視野」「行動力」を兼ね備え、広く社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。



公益財団法人 交通遺児育英会 会長 石橋 健一



公益財団法人 交通遺児育英会

学生寮『心塾』の設立

交通遺児育英会は1969年(昭和44年)設立ですが、設立直後から保護者の皆さんから「東京は大学が一番多く、学生が一番多いのだから、何とか東京に学生寮をつくり、奨学金だけで学生生活が送れるようにしてほしい」という声が多くありました。

そのような折(1973年/昭和48年)、のちに第1次オイルショックと呼ばれるインフレによる狂乱物価が発生。このことがさらに修学環境を悪化させました。

このような修学危機にこたえる形で、1976年(昭和51年)、学生寮の建設計画が動き出し、関係者、諸部門の迅速な対応で1978年(昭和53年)4月8日に竣工式を迎えられました。

塾名『心塾』は、多くのあしながおじさんの善意の“心”によってこの塾が建てられたことと、幕末の蘭学者緒方洪庵の曾孫緒方富雄先生のお言葉、「いくら学問をしてもその人に人間の“心”がなければ学問は役に立たない」に由来しています。

時を経て、2000年代に入りますと、保護者の皆さんから「東京に次いで学生が多い関西にも学生寮の開設を」という声が多く寄せられるようになりました。その声を受け、2005年(平成17年)、関西にも『心塾』を開設しました。



『心塾』が大切にしていること

1 修学に専念できること

修学の意味とは、これまでに蓄積されてきた知識を学ぶこと、さらにその知識を改善、改革して一歩前進させる力をつけることです。『心塾』は奨学生が食住の心配なく修学に専念できる場です。

2 コミュニケートする力をつけること

社会に出ればコミュニケーション力が大切です。コミュニケーションする力で、自らのタスクを理解し、コミュニケーションする力でそのタスクを解決できるのです。『心塾』では塾生のコミュニケーション力を養成するために、読書感想文講座、文章講座、スピーチ講座と3つの講座を設けています。講師は大手新聞社の記者、大手企業で役員のスピーチライターをしていらっしゃる方々をお願いしています。



ヒポクラテスの木

『心塾』玄関前のプラタナスの名は「ヒポクラテスの木」。ヒポクラテス(前460~375年)は医学の父と呼ばれた人で、ギリシャのコス島のプラタナスの木陰で弟子たちに医学を教えたという伝説があり、今もその地に残る老大樹は敬意を込めて「ヒポクラテスの木」と呼ばれています。『心塾』のプラタナスは、コス島から日本赤十字に贈られた若木の1本を分けていただいたもので、現在このように立派に育ち、塾生を見守っています。朝夕ヒポクラテスの木のそばを通ることで、学問を究めようとする心を忘れないようにしたいものです。



ヒポクラテスの木



記念樹の小径

記念樹の小径

『心塾』の正門を入ると右側に記念樹の小径があります。先輩塾生が、入塾時に記念に植えた樹々です。見て、触れることで先輩方の思いが、塾生に伝わればと思います。

塾の一年

『心塾』の公式行事は入塾式と卒業式です。そのほかに塾生の皆さんが主体となり、年間に次のような多くの行事を楽しみます。新入生歓迎会、スポーツフェスティバル、サマーキャンプ、もちつき大会、成人式などです。これらの行事は、塾生長を中心に、塾生の皆さんが考えて進めます。いろいろなチームでこれらの行事を進める過程で、3つの講座(文章講座・スピーチ講座・読書感想文講座)とは異なった方法で自然に塾生のコミュニケーション能力が育ちます。



サマーキャンプ



もちつき大会

居室について

『心塾』は一般居室以外はバリアフリー設計です。居室数は男子棟、女子棟それぞれ34室、うち各棟で2室ずつハンデキャップルームを用意しています。一般居室の1.5倍の広さがあり、身体のハンデキャップがある方や車いすユーザーも支障なく日常生活が送れます。

心置きなく勉学に励み、安心して暮らすための場を提供します



高い防音性により しっかり集中できる居室

防音性能を備え、自身の音漏れを防ぐと同時に周囲の音もシャットアウト。学習に専念できる空間です。



多目的室の実習で 実力を上げよう

理容美容、建築、美術、歌唱、楽器演奏などの実習その継続こそ実力UPの鍵です。



一緒だから、楽しく美味しい!

各階に共用キッチンがあり、いつでも調理を楽しむことができます。全国から集う塾生の故郷の味を楽しんではいかがですか。



共用棟でリラックス!

共用棟には大型テレビ、音響装置を備えています。ラウンジでは読書や談話を楽しむことができます。

『心塾』東京寮のご紹介

整備された学習環境と安心・安全な暮らしを用意することで、塾生の学びを促します。



1 居住棟 居室は一人部屋。学習面、生活面で自分スタイルを確保できます。

個室 ▶ 広さは19.12㎡(10畳余)、室内にはシャワー、トイレ、洗面台が完備され、Wi-Fiが使えるなど“暮らしやすさ”に配慮しています。



- 〈個室の主な設備〉
- Wi-Fi
 - 全館空調(冷暖房完備)
 - シャワールーム
 - シャワー式トイレ
 - 洗面台
 - 机
 - 本棚
 - ハンガーラック
 - 玄関先収納
 - ベッド(布団類は支給)
 - 冷蔵庫
 - 電子レンジ
 - 電気ケトル
 - 洗濯機

多目的室 ▶ 各フロアに一室ある多目的室は勉強はもちろんのこと、建築や美術、理容美容、音楽等の実技練習のために用意されています。



1階 理容美容実習室



2階 アート・建築実習室



3階 個別自習室



4階 グループ学習室



2 共用棟 食堂やラウンジなどコミュニティスペースのほか、塾長室や教務室等の職員スペースで構成されています。



食堂



ラウンジ



研修室



ゲストルーム

3 イベントホール イベントや地域の人たちとの交流の場として使用されます



若い世代の栄養バランスに配慮した食事を提供

専属の栄養士により、若い世代に必要な栄養を考えた、バランスの良い献立を用意。毎日朝と晩の2食が提供されます。食事時間は、朝は6:00~8:30、夜は18:00~22:30です。



セキュリティ対策を整え 安心・安全の住環境を用意

入館および共用棟から居住棟への出入にも電子キーが必要です。防犯カメラを居住棟の出入口をはじめ各棟の要所に配備し、セキュリティ対策に万全を期しています。また寮長、寮母が常駐して、塾生の暮らしを見守っています。



居住棟への連絡口



防犯カメラ

SDGsに配慮した住環境で 未来を見据えた省エネを

居住棟は全館耐震・防音・省エネ構造の施設です。なかでも省エネ性能は高く、「BELS」※により5ツ星を獲得。館内および居室の寒暖差が少なく、過ごしやすい室温であることも特徴です。



近隣地域と心塾、BCP機能について

敷地の半分以上の緑地、大容量のイベントホール等に加え自家発電設備、貯水槽を備え、緊急時、避難所として活用できます。教務室には災害時に、心塾、育英会本部の業務を中断させず継続可能とするBCP(事業継続計画)機能設備を配置しています。



自家発電設備

※「BELS」(「Building-Housing Energy-efficiency Labeling System」の略称。)とは、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が運営する省エネ性能を表示する第三者認証制度の一つ。一次エネルギー消費量をもとに5段階の星マークで表示し、当施設では居住棟が設計一次エネルギー消費量30%削減を実現しており、ともに5ツ星を獲得しています。

『心塾』卒塾生と保護者のメッセージ

かけがいのない 思い出の宝庫

『心塾』はかけがえのない思い出と経験の宝庫です。塾の行事や日々の共同生活を通じて、先輩や後輩、同期との絆を深めることができ、また地域の方との交流も心に残っています。最初は不安だった一人暮らしも、周りの支えのおかげで乗り越えられました。

卒塾生



挑戦を通じて、心の成長を実感

『心塾』には挑戦できる環境が整っています。ひとつのイベントを通じて企画から運営までを担う能力や、意見を伝え合い、理解し合う姿勢を学べたことは大きな財産です。これらの経験は、ゼミやボランティア活動、アルバイト、そして就職活動でも大いに役立ち、社会に出ても必ず活かせると確信しています。

卒塾生



失敗を重ねながら、互いの心を理解

意見を伝えること、お互いが歩み寄り理解しようとする姿勢を持つこと、どちらもたくさんの失敗を繰り返してできるようになりました。多くを学び、成長させてくれた『心塾』には感謝の気持ちばかりです。

卒塾生



『心塾』での出会いを 人生の糧に

わが子を安心して東京へ送り出せたのも『心塾』があったからこそ。交通遺児育英会の皆様の温かい支援と、心塾の充実した環境に深く感謝しています。『心塾』での出会いと経験を大切に、立派な大人になってほしいと心から願っています。

保護者



『心塾』関西寮のご案内

関西地区の大学・短大・大学院・専門学校へ進学する奨学生に向けて、大阪、兵庫、京都の3都市に『心塾』関西寮を用意しています。すべて冷暖房を完備した一人部屋で、机やベッドなどの家具類を完備。また食事朝食と夕食を用意していますので、初めての一人暮らしでも安心して学生生活を送れます。



ポイント1

食事は、朝・夕2食付です

各学生寮では朝食と夕食を用意(月～土曜日まで)。献立は専属の栄養士によって考えられているので、栄養が偏りがちな一人暮らしでも安心です。朝食は洋食と和食から選べて、夕食もパリエーション豊富に用意されています。ただちと一緒にさらに美味しく感じられます。※食事時間は施設によって異なります。



ポイント2

便利で充実した居室です

部屋は全室個室で、ベッド、机・イス、本棚、タンス、エアコン、Wi-Fi等を完備しています。身の回りのものだけですぐに快適な学生生活がスタートできます。

※寮や居室タイプによって、間取り・仕様が異なります。
※希望者には布団リース(有料)も行っています。

地域や間取りの内容によって月15,000円～25,000円のタイプをご用意しています。

(間取り例)



ポイント3

安心で快適な学生寮です

みんなで食事が楽しめるダイニングルームのほか、パブリックバスやランドリールーム、キッチンコーナーなど、設備も充実し、快適な暮らしをサポートします。また常駐の寮長夫妻が快適な日常生活をバックアップ。留守中の郵便物や宅急便の受け取りもお任せできます。防犯・防災はもちろん、ケガや急病といった万が一の時も安心です。



年中行事

広い範囲に暮らす関西寮の塾生ですが、入塾式や卒業式のほか、企画行事を実施するなど、塾生の交流の機会を設けています。また寮ごとの個人面談、企画行事、翌年度の在寮継続面談、また年4回の読書感想文講座を実施しています。



4月 入塾式



7月 観劇



2月 卒業式



■ 入塾資格

- 1) 大学(短大)、大学院、専修・各種学校に在学し、原則、本会の奨学生であること。ただし、東京寮のみ奨学金を利用しなくても、本会の奨学生の資格要件を満たしていれば入塾を認めています。
※入塾希望の場合は、奨学金と同時に申し込んでください。なお、入塾に関しては選考委員会による選考があります。
- 2) 自宅から通学が不可能(通学時間90分以上を要する場合)なこと。

■ 寮費

【東京寮】月額/10,000円(朝夕2食、水道光熱費、Wi-Fi込み)
【関西寮】月額/15,000～25,000円(朝夕2食、水道光熱費、Wi-Fi込み)
※居室について/㈱共立メンテナンスが運営する関西地区(大阪、兵庫、京都)の学生会館の居室を交通遺児育英会が借り上げて、奨学生に貸し出しています。

『心塾』の入塾に関するお問い合わせは
公益財団法人 交通遺児育英会 【奨学課】0120-521-286 【心塾】0120-355-619
<https://www.kotsuiji.com/activity/kokorojuku.html>

